



# イタリア 音楽の旅

オペラはどこからやってきたのか



出演: **Les Grâce** / **Musica Reservata**

レ・グラース

ムジカ・レセルヴァータ

第2回

**オペラへの道** —バロック歌曲とモンテヴェルディー—

**2017/4/21** [金]

19:00 開演 [18:30 開場]

**イタリア文化会館** アニェッリホール(B2F)

全席自由 ¥4,000 (税込)

主催 (社) VIA GALLERIA

後援 イタリア文化会館



<http://viagalleria.or.jp/>

## 16～18世紀 イタリア音楽の進化と波及

バロック期のエネルギーと輝きに満ちたイタリア音楽は、現代の我々にも、その新鮮な躍動美で感動を与えてくれます。第一線の演奏家による古楽器・歌曲の演奏で、ときに歴史文化の解説も添え、全4回のシリーズに亘りその進化を辿っていきます。

16世紀イタリアは、皆さんも良くご存知のストラディバリウスやアマティなどの楽器工房が、創意工夫によりヴァイオリンという楽器を産み出します。また一方、トリオンナタや通奏低音、単旋律歌曲など新しい楽曲様式も編み出されました。これらの進化が相乗効果をもたらし、ヴィヴァルディの弦楽合奏など、イタリア音楽の劇的な進化を促していきます。

15世紀の音楽先進地フランドル(オランダ・ベルギー・フランス北部)に代わり、16世紀半ばにはイタリア音楽の輝きが周辺ヨーロッパを照らして行きます。この時代、イタリアらしい単旋律歌曲が器楽合奏と融合し「オペラ」が生まれると、瞬く間にアルプス以北のヨーロッパを席卷します。

この時代、無数のイタリア音楽家たちが、各国から招かれアルプスを越え活躍しました。時代を切り開いた彼らの魅力に溢れた作品を取り上げていきます。



### Les Grâces profile

2010年、声楽家鈴木美登里氏のもとで古楽声楽を学び演奏活動を行っていた長谷部千晶、望月万里亜、森川郁子の三人で結成されたアカペラの古楽声楽アンサンブルグループ。サロンコンサート等各所での演奏を経て本格的にグループ活動を開始、主催公演をはじめ地方公演やイベント演奏、スポーツの国際大会での国歌歌唱もつとめる。

女声三声の透明感のある音色と、同じメソッドに沿った発声を生かし、中世・ルネサンスからバロックに至る幅広い時代の歌を歌ってアカペラの魅力を伝え、好評を博している。Les Grâcesとは、三美神を表すフランス語。フランス語で美、雅、芸術的な豊感という意味を持ち、古代においては豊穡の女神でもあったといわれる。絵画や彫刻でも数多く題材になっており、ボッティチェリの名画「春」ではヴィーナスの横で踊る三美神が描かれている。それぞれ歓喜、花の盛り、光輝、または愛欲、純潔、美を象徴している。



### Musica Reservata profile

古楽器によるバロック音楽の演奏を趣旨とするアンサンブルで、メンバーは我が国古楽器演奏の第一線で活躍する経験豊かな奏者たちで構成されている。今回出演はバロック・ヴァイオリンの小野万里、宮崎啓子、バロック・チェロの高橋弘治、チェンバロの岡田龍之介だが、フラウト・トラヴェルソの国枝俊太郎も常演メンバーである。相互の自発性、音楽的感性を尊重し、互いに音を聴き合いながら音楽作りを進めていく過程を通じ、緻密だが創造性豊かなアンサンブルを作り上げている。バロック当時の演奏法、古楽器特有の奏法や響きも研究し、当時の奏法様式に基づきつつ、実演に際しては、即興的な要素も加えた大胆で生き生きした表現も心がけ、聴衆が音楽の楽しさを共感できるような再現芸術を目指している。

# イタリア 音楽の旅

## 第2回 オペラへの道

### バロック歌曲とモンテヴェルディ



第二回は、のちのオペラに繋がる歌曲の発展を聴いて頂きます。14世紀以降、各都市国家を統治するシニョーリアたちは、自分の宮廷の評判を高めようと、互いに芸術の分野で競い合いました。イタリア歌曲も例外では無く、宮廷サロンで単旋律の世俗的歌曲が取り上げられると、流行りのようにこの分野の作品が多数生まれます。このころ、イタリア人ペトルッチにより世界初の楽譜印刷も成功し、1504年にこれら歌曲集を出版すると、大好評を博します。本日冒頭のアルカデルトは、その時代の歌曲の香りを伝えてくれます。やがて藝術性の高いマドリガーレという歌曲ジャンルも生まれ、益々イタリア歌曲は栄えました。1589年フィレンツェ・メディチ家のピッティ宮殿で行われたトスカーナ公とフランス公女の婚礼式典では、演劇の幕間（インテルメディオ）に楽器と歌の合奏音楽が登場しました。間もなくフィレンツェで、本日紹介のペーリやカッチーニらが、オペラの先駆けとなる作品を世に送り出します。華のある歌曲と合奏の協演が耳を楽しませてくれます。やがてモンテヴェルディによる初期オペラの金字塔「オルフェオ」も誕生し、イタリア単旋律歌曲はストロツィのような熱心な支持者たちにより、一層個人的で感情豊かな音楽に発展していきます。どうぞ、この時代の名曲をお楽しみにお越しください。

### 作曲家（順不同）

#### ヤコブ・アルカデルト (1504/05 ~ 1568)

ローマで生まれたと想像されるが、パリに没したフランドル楽派の作曲家。専ら世俗シャンソンやマドリガーレを作曲し、素朴ながら洗練された旋律は、国内のみならずフランスなど、国境・世紀を越え高い人気を誇った。

#### ヤコボ・ペーリ (1561 ~ 1633)

オペラ「エウリディーチェ」より *Nel puro Ardor*

ローマに生まれフィレンツェで教会の歌手・オルガン奏者を務めたのち、メディチ家宮廷楽長となり作曲家としても活動した。古代ギリシャの演劇の復興を目指す音楽サークル、カメラータの一員として、人類最初のオペラ「ダフネ」を1597年に作曲したと伝えられる。本日の「エウリディーチェ」は現存する最古のオペラとされる。

#### ジュリオ・カッチーニ (1545 ~ 1618)

歌曲 *Amarilli mia bella*

生誕地は不詳。リュート、ハープ奏者兼歌手としてのローマでの活躍を見たコジモ・ディ・メディチにより、フィレンツェの宮廷に招かれ、奏者兼歌手として活躍。その傍ら、ペーリらと同じカメラータに所属し作曲活動に携わり、のちペーリと競い合うように同名オペラ「エウリディーチェ」を発表。

#### クラウディオ・モンテヴェルディ (1567 ~ 1643)

オペラ「オルフェオ」より *Lasciate i monti, lasciate i fonti*

ヴァイオリンの故郷クレモナに生まれ、マントヴァ公国の宮廷楽長、ヴェネツィアのサン・マルコ寺院の楽長を歴任し、1607年に最初のオペラの金字塔といわれる「オルフェオ」をマントヴァで初演する。新しい作曲の潮流「第二の作法」を提唱し、聞き取りやすい歌詞を受け持つソプラノの単旋律声部にバスを置く、モノディという新しい様式を押し進め、近現代のオペラに通ずる道筋を付けた。

#### バルバラ・ストロツィ (1619 ~ 1677)

台本作家ジュリオ・ストロツィの私生児と伝えられるが、父親の積極的な支援によりヴェネツィアで歌手として活躍。また、モンテヴェルディの「第二の作法」の熱烈な支持者としても多くの歌曲を出版した女流作曲家である。

(演奏曲は予告なく変更となる場合がございます)



# イタリア 音楽の旅

第2回 オペラへの道 - バロック歌曲とモンテヴェルディ -

**2017/4/21** [金] 19:00 開演 [18:30 開場]

イタリア文化会館 アニェッリホール (B2F)

〔演奏〕Les Grâce 古楽声楽アカベラアンサンブル レ・グラーズ

Musica Reservata 古楽アンサンブル ムジカ・レセルヴァータ

● 全席自由 ¥4,000 (税込)

【チケット取扱い】

## ◎ ヴィア・ガレリアのホームページ申込画面

お客様情報は、お申込み後のチケット送付のため正確にご記入ください  
クレジットカード決済、現金振込、いづれもご入力後メールでご案内します

URL: <https://goo.gl/ilmwGC> [QRコード]



## ◎ 東京古典楽器センター

TEL. 03-3952-5515

【お問合せ】

メール: [info@viagalleria.or.jp](mailto:info@viagalleria.or.jp)

お電話: 045-961-0813 岡田

ホームページ: <http://viagalleria.or.jp/>

主催: (社)ヴィア・ガレリア

後援: イタリア文化会館



イタリア文化会館 東京都千代田区九段南 2-1-30

◆ 地下鉄「九段下」駅 (2番出口) より徒歩 10分

◆ 駐車場はありませんので、車での来館はご遠慮ください。

## 「イタリア音楽の旅」 次回演奏会のお知らせ

● 第3回公演

**Vivaldi 四季と弦楽合奏**

イ・ムジチ合奏団前コンサートマスター、  
フェデリコ・アゴスティーニ氏の  
ソロヴァイオリンで  
ヴィヴァルディの四季が甦る！

室内合奏団: コンチェルト・ディ・ガレリア  
チェンバロ: 岡田龍之介

2017年 **9/22** (金) 全席自由 ¥5,000 (税込)

19:00 開演 [18:30 開場]

於 イタリア文化会館 アニェッリホール B2F